

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年7月23日

全州に亘り気温・乾燥気象であった。ウイラメット盆地並びにカスケード山脈の東側では降水は殆ど無く、極めて乾燥している。東オレゴンの森林火災は既に200,000エーカーの森林を灰と化した。降水が無く高温(93~98度F)と成り土壌水分は更に悪化した。北中央地区の小麦の収穫は、最盛期に入った。ギリウム、モロー並びにシャーマン群の冬小麦の単位収量は、12~15ブッシェルから良くて30ブッシェル/エーカーである。ギリウム郡では不稔の穂を持つ小麦が相当に存在していると報告されている。モロー郡の連作小麦圃場では、全く収量が見込まれず収穫放棄となっている。シャーマン郡の単位収量は平年の60%と見込まれる。高温・乾燥より品質低下し、高淡白質、低容積重、低1000粒重が予想されている。ウイラメット盆地の冬小麦の収穫も一部で開始された。春小麦の一部の品種にさび病が発生している。現在の土壌水分不足が今後改善されないと、2003年産冬小麦の播種の大幅な遅れを生む恐れがある。

2002年7月21日現在:

土壌水分状況:

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	35	42	23	0
Subsoil (%)	36	41	23	0

小麦作柄:

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	35	25	22	14	4

作物進捗状況:

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Harvested (%)	31	17	14	10

Source: Oregon Agricultural Statistics Services